

プロフィールは、必ずしも全部を公開しなくてもいいのです。

明かしたくない部分は「仲よくなったら教えます」と書けばOK。年齢も職業も住んでいる場所も「仲よくなったら教えます」で切り抜けましょう。プロフィール写真も、顔がはっきりわかるものではなく、下向きや横向き、後ろ姿でもOK。もっと言うと、自分の写真じゃなくてもいい。飼っているペット、趣味のもの、好きな場所や食べ物など、自分の人となり伝わる画像であればいいのです。

「どうしても無理！」という男性の条件は、誰にだってあるもの。

まず、「これに該当する人とは、何があっても恋愛関係になることはありえない」という項目を決めてしまいましょう。

これを私は「アンチタグ」と呼んでいます。

「アンチタグ」のルールは、**最大3つ**までにしぼること。

「清潔感がない」「いちいち否定的」「お金にだらしない」……結婚相手としてはどうしても許せない、受け入れられない条件のワースト3をピックアップします。

マッチングアプリは、メッセージのやりとりから対面デートにつながる確率がだいたい**10分の1**。つまり20人とやりとりをしても、実際に会えるのはたったの2人。

・・・

メッセージのやりとりをしていく中で、フェードアウトされてしまったり、相手が退会してしまったり、やりとりをする人数が減ることは想定内。ですから、常に20人はやりとりを続ける相手が必要。**1人減ったら、新たに1人マッチング相手を増やしてください。**

男性からの「いいね」の数は、アプリ登録から時間が経てば経つほど減っていきます。登録した直後は1日に30人から「いいね」がきたとします。でも1カ月後には1日5人になり、2カ月後には3日で5人に、3カ月後には1週間で5人……と、最初の勢いがうそのように、「いいね」の数が減っていくのが一般的。なぜなら、毎日たくさんの女性が新しく登録してくるからです。

“いいヤツ” 粹

タイプな彼との、あれこれ気遣いしながらのやりとりより、“いいヤツ”が与えてくれる、ゆるくてラクな時間のほうに幸せを感じるようになるかもしれません。

「気づいたら、この人にこんなに自分のことを話している」なんてことも、大いにあります。

“いいヤツ”は、むしろ最高の結婚相手候補かもしれない。少なくとも、今手放すべきではありませんよ。

大事なのは**自分のことを大切に扱わせる**一貫した姿勢です。

「デートはもっとお互いのことを知ってから」なんてのんびりしていると、どんなにこまめにメッセージのやりとりをしていても、男性から「なかなか進展しないから、もうこの人はいいかな」と思われてしまいます。

メッセージだけをやりとりしている女性よりも、テンポよく電話をしたり、ビデオ通話をしたり会ったりして、**スピーディーにポンポンポンと進展していく女性のほうがいい**。オンライン婚括では、それが男性の本音です。

言い換えれば、アプリで男性に選ばれるかどうかは、性格や魅力ではなく「タイミングが合うか」「テンポよく進められるか」で決まることが多いのです。

時間をかけてメッセージのやりとりだけを続け「進展しないなあ」とフェードアウトされる前に、**どれだけスピード感を持って関係を深めていけるかが勝負**です。

・・・

とにかくテンポよく、より多くの男性とやりとりをする。これがアプリ婚括の鉄則です。

勝手にイメージを膨らませる前に、まず直接会う必要があるのです。

「いいな」と判断してから会う、のではなく、**いいかどうかを判断するために会う**。この順番をまちがえないようにしてください。

「オンラインデートっていったい何をすればいいの？」と思いますよね。

ここでは初めてのオンラインデートにおすすめの内容をシェアします。

やはりデートに食事は欠かせません。そこで、Uber Eatsなどのフードデリバリーを活用し、自宅近くの人気フードをそれぞれ注文しましょう。お互いに画面越しでシェアすれば話題も広がりますし、対面デートで食事するときのお店選びにも役立ちます。

食事しながらの会話は、この3つを参考にしてください。

①仕事の話

②家族の話

③自分を語るうえで欠かせない部分

当たり障りのない世間話は一切不要。「まだ彼氏じゃないから」なんて思わずに、

お互いを知って、関係を深める時間にしましょう。ここでの盛り上がりはそのまま、ふたりの関係の盛り上がり直結します。

会話を弾ませには、相槌を打たずに、質問する。相手に興味を持つ。相手の考え方、モノの見方を知ろうとする。

感情ノート

彼にどう思われるかよりも大切なのは、自分がどうしたいのか。感情ノートをつける習慣を持つと、自分が満足した状態ではどうすればいいのかが、徐々にわかってくるはず。

泉探し

「なんで？」はあなたが興味のある話題だけでなく、何にでも繰り返してください。どんな人にも「餞舌になる泉」というのがあり、「なんで？」の繰り返しで、その泉を掘り当てることができるのです。

どう頑張っても「合わない」「この人は無理」なら、その人とのデートは「自分の情報収集や男性の考え方のリサーチの時間」に変えてしまいましょう。

「20人の男性と連絡をとり、デートまで至った人とは最低3回会ってみる」

男性には、「台本」を渡してください。こうしたらあなたを幸せにできる、というセリフや行動を具体的に示した「台本」を。

男性からしたら、いちいち愛情表現をするのは正直めんどくさいこと。でも、「台本」どおりにやったら彼女が喜んでくれた……その成功体験が男性にとってはとても重要。

「もっといい人がいるんじゃないの？」と言われても、「いいのいいの、私は」言える自分の軸を持つことが重要です。